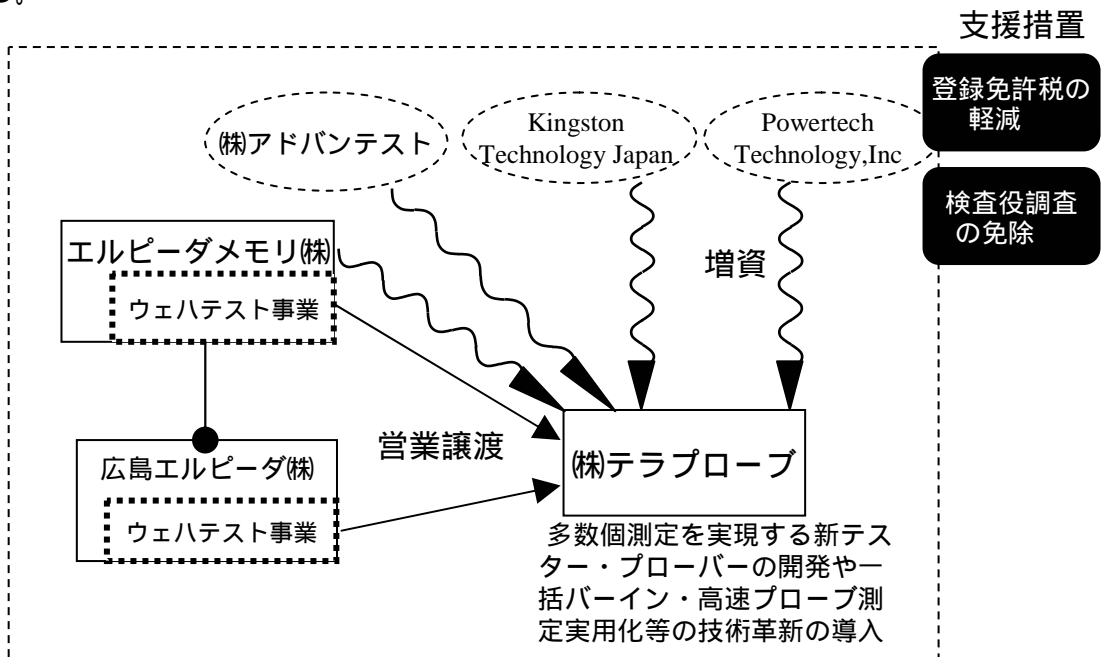


株式会社テラプローブの経営資源再活用計画のポイント

(株)テラプローブは、エルピーダメモリ(株)、(株)アドバンテスト、Kingston Technology Japan LLC、PowerTech Technology, Inc.に対する増資を実施した上で、エルピーダメモリ(株)及び広島エルピーダ(株)からウェハテスト事業を営業譲渡により譲り受け、最先端テスターへの投資と効率的な運用を通じて、ウエハーテスト専門会社として、業界最先端テスト技術力かつ低コストのウエハーテストオペレーション体制を確立する。



【生産性の向上】

- ・一人当たり付加価値額を59.4%向上

【財務内容の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー 10倍以内
- ・経常収支比率 100%以上

【事業革新】

- ・多数個測定を実現する新テスター・プローバーの開発や一括バーイン・高速プローブ測定実用化等による新たな技術革新の導入により、ウエハーテスト1枚単位当たりの製造原価を2割以上低減する。

【計画の実施期間】

- ・平成17年9月～平成20年8月

認定経営資源再活用計画の内容の公表

1. 認定した年月日 平成17年9月26日

2. 認定事業者名 株式会社テラプローブ

3. 認定経営資源再活用計画の目標

(1) 経営資源再活用に係る事業の目標

この度、世界半導体市場は、安定したPC向け需要に加え、昨年後半に一時的な在庫調整があったもののこれから世界規模で本格普及を迎えるデジタル家電向け及び第三代携帯電話端末向けなど全体的に一層の成長が見込まれる。これに対応し、海外の半導体メーカー各社では300mm工場に対する投資を活発に行っている。但し、300mm工場建設費が巨額な負担になってきていることから、業界内において機能別分業体制を構築する動きが進みつつある。

一方で、現状の国内半導体業界においては、未だに垂直統合のモデルとなっている。加えて国内半導体メーカー各社の収益性は、海外メーカーとの比較では極めて低い。こうした環境の下、各社は競争に打ち勝つため個別に大規模な投資をしなければならぬ一方、その投資に見合う売上高の確保が不透明である為、大規模な能力増強に至れない状況が顕在化している。

このような状況下において、株式会社テラプローブ。(以下、テラプローブ)は、日本初の300mmテスト技術を持つ大規模ウエハーテスト専門企業(テストハウス)として発足することとした。日本における水平分業体制を進めることで国内半導体業界の競争力の強化に寄与するものとする。

従来から国内半導体メーカーは、その生産工程を回路製造・ウエハーテストの前工程と、組立・最終テストの後工程に分け、開発技術・生産技術が大きな比重を占める前工程を国内自社工場で分担し、比較的労働集約型である後工程は、主に海外組立会社に委託して設備投資の軽減とコスト低減を図ってきた。また昨今は、設備投資の10%程度を占めるウエハーテストも海外テストハウスに一部委託展開し、負担軽減を進めている。しかしながら外部委託している組立・最終テストにはその効果にある程度満足しているものの、テスト結果を即座に回路製造に反映したいウエハーテスト工程の現状には、充分満足しているとはいえない。フィードバックが遅いこと、また自社工場での製造に比較して生産フレキシビリティも劣ること等から、結果として高コストとなっている。

テラプローブはウエハーテスト専門会社として業界トップレベルの技術力・オペレーション力をベースに顧客である国内半導体メーカーに対して投資負担の低減また低コストのウエハーテストサービス及び新技術の実用化によりこれまでパッケージ後に実施されていたバーイン(初期不良品の除去)・高速動作試験のウエハプロセスでの実現をすることで顧客の期待する高信頼性製品の提供を実現するものである。

今回の経営資源再活用計画の骨子は、テラプローブが、エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社のウエハーテスト技術・オペレーションノウハウを承継・活用し、またエルピーダメモリ株式会社、株式会社アドバンテスト、Kingston Technology Japan LLC、Powertech Technology, Inc. からの出資を受け最先端テストに投資、効率的な運用を図ることで、ウエハーテスト専門会社として業界最先端の

テスト技術力及び低コストのウエハーテストオペレーション体制を確立することである。当初はDRAMなどのメモリテストからスタートする。また将来的にはメモリのみならず、エルピーダメモリから承継する技術・ノウハウをベースにロジックウエハーテストオペレーションも行う半導体ウエハーテスト専業会社としてのグローバルプレゼンスを確立して行く。

(2) 生産性の向上を示す数値目標

生産性の向上としては、一人当たり付加価値額を平成20年度には平成16年度に比べて59.4%向上させることを目標とする。

4. 認定経営資源再活用の内容

(1) 経営資源再活用に係る事業の内容

承継する事業

エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社のウエハーテスト事業

選定理由

テラプローブは、エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社の技術およびオペレーションノウハウを承継し、ウエハーテスト専業会社として業界最先端テスト技術力また低コストテストオペレーション体制でスタートする。エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社のウエハーテスト技術は、国内唯一の最先端大規模300mm工場で開催され、すでに確かな実績があるものである。

またこの技術をベースに将来的にはフラッシュ等の他メモリ及びロジックウエハーテストオペレーションへの展開が十分に可能である。

こうした結果、半導体ウエハーテスト専業会社としてのプレゼンスを確立し、企業価値向上を目指すものである。

経営資源の有効活用の方策

(営業の譲受け)

テラプローブは、平成17年10月1日の操業開始に際して、エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社からウエハーテストの実施に関するノウハウのライセンス、出向受入、取引先との契約、ウエハーテスト設備の賃貸借契約等を行い、その後、両社のウエハーテスト事業に係るウエハーテスト技術・オペレーションノウハウを譲り受ける。

< 譲渡会社 >

名称： エルピーダメモリ株式会社
住所： 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
代表者の氏名： 坂本 幸雄
資本金： 87,234百万円（平成17年3月末現在）

名称： 広島エルピーダメモリ株式会社
住所： 広島県東広島市吉川工業団地7番10号
代表者の氏名： 大塚 周一
資本金： 325百万円

< 譲受会社 >

名称： 株式会社テラプローブ
住所： 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

代表者の氏名：小澤 雅英
資本金：10 百万円

[営業譲受けのスケジュール]
営業譲受期日：平成 18 年度上期中（予定）

なお、当社設立後 2 年以内に資本金の 20 分の 1 を越える対価をもってエルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社より営業譲受けを受けることから、商法第 246 条に定める事後設立に該当する。

（増資）

株式会社テラプローブは、第三者割当増資を行う。
第一次増資額：1 1 1.8 億円（うち 5 5.9 億円を資本金へ組み入れ）
増資前資本金：0.1 億円
増資後の資本金：5 6 億円
増資の方法：エルピーダメモリ(株)、(株)アドバンテスト、Kingston Technology Japan LLC、PowerTech Technology, Inc. に対する第三者割当増資
増資予定日：平成 1 7 年 9 月 2 9 日

第二次増資：未定

第三次増資：未定

（事業革新）

当社は、エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダ株式会社がそれぞれ保有しているウエハーテスト技術、オペレーションノウハウの双方を集中し、自主的に運営することとし、

生産性改善の為の新テスト・プローバ開発による多数個測定実現
一括バーイン・高速プローブ測定実用化による品質及び生産性の大幅改善
作業ロス低減の為の枚葉生産方式の導入

などの技術革新を推進する。

上記の結果、間接材料費で約 7%、設備メンテナンス関係費用で約 10%の低減効果を実現する。加えてウエハースルーブットの向上も約 30%向上する。よって 3 0 0 mmウエハーテスト一枚を一単位とする単位あたり製造原価では、当計画実施前と比較して 2 割以上低減する。

(2) 経営資源再活用を行う場所の住所

株式会社テラプローブ

- ・本社 東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号
- ・開発センター 神奈川県相模原市南橋本三丁目 1 番 3 5 号
NEC 橋本技術センター内
- ・広島事業所 広島県東広島市吉川工業団地 7 番 1 0 号広島エルピーダメモリ工場内

(3) 経営資源再活用を実施するための措置の内容

別表のとおり

(4) 経営資源再活用の開始時期及び終了時期

開始時期：平成 17 年 9 月

終了時期：平成 20 年 8 月

(5) 経営資源再活用に伴う労務に関する事項

経営資源再活用の開始時期の従業員数

エルピーダ(株) (ウェハーテスト事業に係る従業員) 20 名

広島エルピーダ(株) (ウェハーテスト事業に係る従業員) 274 名

(株)テラプローブ 0 名

(6) その他

該当なし

別表

1. 経営資源再活用の措置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
他の事業者からの事業の承継		
営業の譲受け	<p>当社は、エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社からウエハーテスト事業を譲り受ける。</p> <p>譲渡会社 名称：エルピーダメモリ株式会社 住所：東京都中央区八重洲二丁目2番1号 代表者の氏名：坂本 幸雄 資本金：87,234 百万円（平成 17 年 3 月末現在）</p> <p>名称：広島エルピーダメモリ株式会社 住所：広島県東広島市吉川工業団地 7 番 10 号 代表者の氏名：大塚 周一 資本金：325 百万円</p> <p>譲受会社 名称：株式会社テラプロープ 住所：東京都中央区八重洲二丁目2番1号 代表者の氏名：小澤 雅英 資本金：10 百万円</p> <p>譲受資産の内容： ・エルピーダメモリ株式会社から譲り受けるウエハーテスト事業を運営するために必要なウエハーテスト技術、メモリウエハーテスト・オペレーションノウハウ ・広島エルピーダメモリ株式会社から譲り受けるウエハーテスト事業を運営するために必要なウエハーテスト技術、メモリウエハーテスト・オペレーションノウハウ</p> <p>営業譲受期日 平成 18 年度上期中（予定）</p> <p>なお、当社設立後 2 年以内に資本金の 20 分の 1 を越える対価をもってエルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダメモリ株式会社より営業譲受けを受けることから、商法第 246 条に定める事後設立に該当する。</p>	法第 11 条（事後設立の調査に関する特例）

2. 任意的記載事項の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
資本の相当程度の増加	<p>第一次増資</p> <p>増資前資本金：0.1 億円 増加する資本金：55.9 億円（資本準備金 55.9 億円） 増資の時期：平成 17 年 9 月 29 日予定 増資の方法：エルピーダメモリ(株)、(株)アドバンテスト、Kingston Technology Japan LLC、Power tech Technology, Inc. に対する第三者割当増資</p> <p>第二次増資：未定</p> <p>第三次増資：未定</p>	租税特別措置法第 80 条の 2（認定事業再構築計画等に基づき行う登記の税率の軽減）

<p>事業革新 法第2条第2項第2号ロ</p>	<p>当社は、エルピーダメモリ株式会社及び広島エルピーダ株式会社がそれぞれ保有しているウエハーテスト技術、オペレーションノウハウの双方を集中し、自主的に運営することとし、</p> <p>生産性改善の為に新テスト・プローバ開発による多数個測定実現</p> <p>一括バーイン・高速プローブ測定実用化による品質及び生産性の大幅改善</p> <p>作業ロス低減の為に枚葉生産方式の導入などの技術革新を推進する。</p> <p>上記の結果、間接材料費で約7%、設備メンテナンス関係費用で約10%の低減効果を実現する。加えてウエハースループットの向上も約30%向上する。よって300mmウエハーテスト一枚を一単位とする単位あたり製造原価では、当計画実施前と比較して2割以上低減する。</p>	
-----------------------------	--	--